

ポスターセッション 2日目

会場:レアンジェ

番号	発表者		演題名
在宅医療(1)		【座長】下川 京子 秋谷潮かぜ診療所	
2P-1	小森 栄作	ももたろう往診クリニック	在宅特化型診療所における夜間・休日の電話対応と臨時往診 1 ～どこから電話がかかりどのくらい往診が必要か～
2P-2	小柳 純子	川崎市立井田病院 緩和ケア内科	かわさき総合ケアセンターにおける在宅看取りの現状と在宅看取りのための条件の検討
2P-3	市川 敦央	桜新町アーバンクリニック	救急搬送された癌末期13症例から学んだこと
2P-4	渡辺 順子	ももたろう往診クリニック	在宅特化型診療所における夜間・休日の電話対応と臨時往診2 ～医師の24時間対応負担軽減のために何ができるか？～
2P-5	谷田貝 昂	東京医科歯科大学医学部付属病院	在宅緩和ケアを行った肺癌患者16例に関する検討 ～疾患の“軌道”を踏まえて適切な時期に適切な介入を行うために～
2P-6	西田 美幸	桜新町アーバンクリニック在宅医療部	癌末期患者の在宅診療開始時期についての検討
在宅医療(2)		【座長】石川 美緒 東京ふれあい医療生協 梶原診療所	
2P-7	今野 里美	松口循環器科・内科医院	症状出現時BNP採血による在宅慢性心不全患者への早期介入を介した再入院回避に向けての取り組み
2P-8	弓野 大	ゆみのハートクリニック	心不全の在宅ケア
2P-9	石川 美緒	東京ふれあい医療生協 梶原診療所	TPPV装着ALS患者の合併症とその対策について
2P-10	深沢 琢也	ゆみのハートクリニック	末期大動脈弁狭窄症患者の在宅看取りの現状
2P-11	平林 あゆみ	三育会 新宿ヒロクリニック	高齢腹膜透析患者の在宅療養支援の実際
2P-12	磯野 理	京都民医連第二中央病院	侵襲的陽圧補助換気(TPPV)導入後11年を経過したALS患者の在宅療養を支える様々な要因-特に意思伝達能力障害とQOLについて-
在宅医療(3)		【座長】山本 美和 富山協立病院	
2P-13	立石 彰男	宇部協立病院 地域連携・在宅医療科	ライフ・レビューの場としての在宅の意義～「家に帰ってしたいこと」を支える～
2P-14	阪本 君代	淀川キリスト教病院 地域医療連携センター	患者支援センターにおける入院時面談の評価 ―退院支援スクリーニングと早期からの多職種協働―
2P-15	大島 浩子	(独)国立長寿医療研究センター	在宅療養を支援する病棟に登録した在宅療養高齢者のQoLと家族介護者の介護負担の検討
2P-16	新屋 洋平	沖縄県立中部病院 地域ケア科	急性期病院における在宅医療の試み ～患者背景、看取り場所、訪問期間の検討～
2P-17	大川 義弘	城北クリニック	訪問診療の依頼があったものの、訪問診療が開始にならなかった例の検討
2P-18	堤 直也	医療法人社団青い鳥会 上田クリニック	療養・看取りの場に迷いながらも、最終的に自宅での看取りを選択した認知症透析患者の一例 ～家族インタビューを通じた振り返り～
在宅医療(4)		【座長】竹田 幸彦 ひだまり診療所	
2P-19	若林 英樹	総合在宅医療クリニック	在宅医が勧めた緩和的放射線治療 ～こんなQOLの改善方法があったのか～
2P-20	一戸 由美子	河北医療財団 東京・杉並家庭医療学センター	在宅がん患者のオピオイド使用状況の調査
2P-21	西村 嘉裕	いばらき診療所とうかい	癌終末期患者の在宅医療
2P-22	岩野 歩	コールメディカルクリニック福岡	在宅診療所による終末期の持続鎮静の検討
2P-23	森 恭子	オレンジホームケアクリニック	在宅療養を継続した肺がん末期患者に関する一考察 ―医療を受ける側と提供する側の立場から―
2P-24	尾下 玲子	訪問看護ステーションにしがも	いのちある限り～娘との約束の潮干狩りに寄り添って～
診療所の連携		【座長】茨木 利彦 寺田醫院	
2P-25	前田 明子	医療法人コムニカ ホームケアクリニック横浜港南	在宅支援診療所における多職種との対話形式・カフェ型ミーティングの試み
2P-26	村田 耕平	株式会社メディヴァ	在宅療養支援診療所における「24時間対応」の負担軽減策と今後の課題 ―在宅診療に対するアンケート調査から―
2P-27	杉浦 真	愛知県厚生連 安城更生病院 神経内科	がん診療連携拠点病院とかかりつけ医との連携で行う在宅緩和ケア
2P-28	神山 一行	港北ニュータウン診療所	機能強化型在宅療養支援診療所におけるオンコール当直体制について
2P-29	星野 真	武蔵野わかばクリニック	在宅医療における医科歯科の連携の在り方について 在宅訪問診療・訪問歯科診療従事者への意識調査アンケートから
2P-30	高橋 美保	ホームケアクリニックえん	在宅療養支援診療所における緩和ケア認定看護師の役割について

在宅療養を支援する 病床(1)		【座長】市原 利晃 秋田往診クリニック	
2P-31	篠田 裕美	医療法人社団プラタナス 松原アーバンクリニック	在宅緩和ケアにおける有床診療所の有用性について
2P-32	金城 謙太郎	飯塚病院 総合診療科、舘田病院、飯塚・舘田家庭医療プログラム	終末期ケアにおける在宅医療の費用抑制効果について～小病院における在宅医療費用と入院医療費の比較調査～
2P-33	市原 利晃	秋田往診クリニック	これからの在宅療養
2P-34	中井 祐之	医療法人ならの杜 たんぽぽクリニック	在宅療養を支援する病床—有床診療所(有床診)の立場から
2P-35	吉澤 明孝	要町ホームケアクリニック・要町病院	在宅緩和ケアにおける後方支援病院の必要性
2P-36	斎藤 恵介	帝京大学泌尿器科学教室	大学病院医療として在宅医療を支える病床活用
在宅療養を支援する 病床(2)		【座長】井手 宏 愛知国際病院	
2P-37	渡辺 克哉	医療法人社団 日翔会 生野愛和病院	生野愛和病院・在宅療養支援病院としての1年半の歩み
2P-38	桐場 千代	独立行政法人 国立病院機構 あわら病院	地方小規模病院での神経難病患者の在宅療養を支援する病床の立ち上げ、現況、および事業拡大要因の解析
2P-39	廣瀬 憲一	医療法人社団守成会 広瀬病院	地域に必要な在宅療養支援病院を目指して
2P-40	星野 将隆	船橋総合病院 神経内科	訪問診療提供患者が在宅療養を継続するために有効な病床利用についての検討
2P-41	五十嵐 知文	社会医療法人 恵和会 西岡病院	在宅療養支援病院における病床運営の課題と対策
2P-42	砂川 昌子	東京都健康長寿医療センター 総合診療科(在宅医療連携病床担当)	当センターにおける在宅医療連携病床の取り組み—院内連携による病状評価と治療方針決定の事例を通して—
訪問診療のマネジメント		【座長】黒崎 史果 那須塩原クリニック	
2P-43	高原 美史	函館稜北病院	訪問診療の専任事務配置の役割と今後の必要性
2P-44	上畑 大	つばさクリニック	訪問診療クリニックにおけるドライバー職の導入
2P-45	山中 ゆかり	舘田病院	在宅での訪問診療専従看護師による患者情報伝達に関する調査と看護師の専門性に関する考察
2P-46	畠中 智絵	つばさクリニック	当院におけるヒヤリハットに対する取り組み～訪問診療現場に起こりうるリスクの検討～
2P-47	松岡 徳浩	城東病院	在宅医療と往診;その可能性と限界について
2P-48	今村 美幸	長崎宝在宅医療クリニック	在宅医療の中での医療ソーシャルワーカーの役割
看取りのケア		【座長】大城 一 遠江病院	
2P-49	小澤 竹俊	めぐみ在宅クリニック	在宅緩和ケアクリニックにおけるスピリチュアルケア ～ディグニティセラピー導入の試みを通して～
2P-50	倉本 剛史	苓北クリニック	在宅看取りにおける多職種連携デス・カンファランス ～医療・介護従事者のセルフエフィカシーを高めるには～
2P-51	五十嵐 麻紀	藤沢本町ファミリークリニック	在宅看取りと病院看取りを分ける因子は何か? ～定期訪問診療患者ケースコントロールスタディーからの解析～
2P-52	山本 容江	医療法人ゆうの森 訪問看護ステーション コスモス	家ででの看取りを取り戻せ ～「我が家に帰る」あたりまえの選択を可能に～
2P-53	竹下 みちよ	希望が丘訪問看護ステーション	訪問看護ステーションにおける在宅看取りに関わる重要因子の検討
2P-54	今永 光彦	東埼玉病院総合診療科	単独世帯・2人世帯の末期癌患者において、在宅死に影響を及ぼす因子は何か?
訪問看護、 小児在宅医療		【座長】細田 修 坂の上ファミリークリニック	
2P-55	野村 有里	オレンジホームケアクリニック	訪問看護の「おもしろさ」を感じる体験
2P-56	武 ユカリ	神戸常盤大学短期大学部	在宅療養者と家族らによる訪問看護師に対する暴言、暴力についての考察～訪問看護師への個別面接調査から～
2P-57	渡邊 亜沙美	倉敷中央訪問看護ステーション	岡山県における小児在宅リハビリの現状調査
2P-58	市川 万邦	南部町医療センター	多職種で連携し在宅療養となった13トリソミーの1例
2P-59	武知 由佳子	いきいきクリニック	内科訪問診療医が診る小児在宅呼吸ケア
2P-60	中村 幸伸	つばさクリニック	重症気管狭窄の児に対し胃瘻用内視鏡を用いて気管内を観察・管理した一例

新しい取り組み		【座長】木島 庸貴 島根大学 総合医療学講座	
2P-61	安田 峯次	安田クリニック	在宅医療導入が救命・社会復帰への突破口となった、超高齢者の敗血症性ショックの1例
2P-62	福田 俊一	医療法人おひさま会 やまぐちクリニック	終末期在宅医学管理患者の病院搬送要因の検討と在宅看取り率を向上させるためのおひさま会の取り組み
2P-63	岡田 豊	つばさクリニック	在宅におけるPEGカテーテル事故抜去症例に対して安全な再挿入を目指して～内視鏡ガイド下PEG交換法の活用～
2P-64	渡辺 康介	渡辺西賀茂診療所	在宅チーム医療推進学講座(寄附講座)の開設 ～京都府医師会、京都府立医科大学、京都府による新しい試み～
2P-65	宮木 大	在宅療養支援クリニックかえでの風	在宅ホスピスシンポジウムの自由記述アンケートに関する統計学的検討
2P-66	上田 康夫	たなかホームケアクリニック	在宅高齢患者の病態評価におけるPhase angle (PA) 測定の臨床的意義

会場: 桃山

番号	発表者		演題名
未来につながる在宅医療の実践・研究(1)		【座長】松嶋 大 中津川病院	
2P-67	桑原 直行	秋田県総合診療・家庭医研修センター、秋田組合総合病院 救急・総合診療部	本道の変 ー医学教育改革の柱としての在宅医療ー
2P-68	佐藤 裕子	森が丘医院	日本の未来を作るかかりつけ医の在宅医療
2P-69	三輪 一太	三輪医院	在宅における皮下輸液の有用性～当院のやり方と症例の検討
2P-70	太田 秀樹	医療法人アスミス およま城北クリニック	在宅医療を推進する地域診断標準ツール開発に向けた評価領域の検討
2P-71	斎藤 忠雄	斎藤内科クリニック	あらたな暮らしの支え方～生老病死を支える新生在宅医療
2P-72	村上 典由	医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック	認知症高齢者にかかる医療・介護費用と「認知症初期集中支援チーム」の経済効果
未来につながる在宅医療の実践・研究(2)		【座長】石賀 丈士 いしが在宅ケアクリニック	
2P-73	杉浦 敏之	杉浦医院	在宅療養支援診療所同士の連携による在宅看取り～地域内での患者の移動に対処するには～
2P-74	増崎 孝弘	株式会社メディヴァ	「地域包括ケアシステム」構築の議論を促進させる現状分析と将来予測について(横浜市青葉区の事例)
2P-75	三好 都子	医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック	在宅医療研修の有用性 ～在宅医療に関する理解度、自宅退院を困難とする要因への影響について～
2P-76	斉藤 康洋	(医)青い鳥会 上田クリニック	家族力だけに頼らない小児在宅介護を目指して ～世田谷区の緊急介護人制度の活用と実践の例～
2P-77	広瀬 美和	中津川病院	自律型在宅ナースを中心にきめ細やかな在宅医療を目指す！
一人開業の訪問診療		【座長】千葉 恭一 ホームケアクリニック えん	
2P-78	赤荻 栄一	古河福祉の森診療所	一人医無床診療所の地域ネットワークによる訪問診療
2P-79	進藤 幸雄	進藤医院	一人開業における在宅看取りの検討
2P-80	杉本 由佳	すぎもと在宅医療クリニック	一人開業医の訪問診療と医療依存度の高い患者の看取り
2P-81	西田 伸一	医療法人社団梶社会 西田医院	一馬力診療所の在宅医療について
2P-82	千場 純	三輪医院	在宅療養がん緩和期患者に関する医療介入度の統計的検討
2P-83	田辺 好英	医療法人雙寿会 平野診療所	地方診療所における訪問診療の現状ー在宅診療の理想と厳しい現実ー
独居の看取り・非癌の緩和ケア		【座長】首藤 真理子 大分市医師会立アルメイダ病院	
2P-84	吉本 明子	新宿ヒロクリニック	独居の末期がん患者を支える在宅診療のあり方を考える
2P-85	朝倉 健太郎	社会医療法人健生会 大福診療所	独居でも看取りが選択できる社会 ～在宅現場からの振り返り～
2P-86	矢崎 一雄	医療法人財団老蘇会 静明館診療所	独居者の在宅看取りを可能にする条件。当院での経験から。
2P-87	岡崎 凡子	ホームホスピス ひばりクリニック	ひとり死を可能にするための在宅ホスピスケアとは～独居がん患者の3事例の看取りを通して～
2P-88	吉澤 明孝	要町ホームケアクリニック・要町病院	非がん慢性呼吸不全終末期患者に対するモルヒネ経口投与の有用性
2P-89	佐藤 将之	川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター	非癌の呼吸器疾患終末期の呼吸困難感に対する在宅緩和ケア～オピオイドとベンゾジアゼピン系薬を併用することによって在宅看取りに成功した3例～

歯科・口腔ケア、連携・多職種協働		【座長】森 清 村山大和診療所	
2P-90	高島 都恵	医療法人 岸川歯科	訪問嚥下診療における在宅医療介護連携について
2P-91	一瀬 浩隆	山谷歯科医院・東名厚木病院	気仙沼における「食べる」取り組みと今後の展望
2P-92	石黒 裕美	富山医療生活協同組合 富山協立病院 外来 訪問診療科	在宅療養を支えるための新たな試み-仰臥位法に取り組んだ一例
2P-93	龍口 幹雄	龍口歯科医院(浜松市歯科医師会)	BMA(Bone-Modifying-Agents)の安全使用に関する医科歯科連携ネットワークの構築
2P-94	小谷 泰子	平成歯科クリニック	嚥下障害・ドライマウス・睡眠時無呼吸に特化した歯科医院の取り組み
2P-95	山口 朱見	あおぞら診療所	看護師・歯科衛生士が協働して行う口腔ケア～その意義を考える～
在宅医療連携拠点事業(1)		【座長】清洲 早紀 吉祥院病院	
2P-96	岡村 紀宏	とよひら・りんく(社会医療法人 恵和会 西岡病院)	「とよひら・りんく」の活動～終末期カリキュラム研修会の成果
2P-97	井川 斉	医療法人葵会在宅医療連携拠点事業所チームもりおか	在宅医療連携拠点事業から在宅医療介護コーディネーター事業へ チームもりおかの取り組み
2P-98	佐々木 みずほ	仙台往診クリニック 研究部	医療と介護における多職種連携上の課題アンケート調査結果と「つながりライン」の考案(第一報)
2P-99	佐々木 みずほ	仙台往診クリニック 研究部	医療と介護における多職種連携上の課題アンケート調査結果と「つながりライン」の考案(第二報)
2P-100	山田 修司	医療法人財団 老蘇会 老蘇訪問介護事業所	自分らしい在宅生活の支援方法。
2P-101	板垣 園子	医療法人葵会在宅医療連携拠点事業所チームもりおか	喀痰吸引等の実施に係る制度について考える～在宅医療連携拠点が行えるサポート～
在宅医療連携拠点事業(2)		【座長】隈井 知之 くまい医院	
2P-102	内山 絵理	みんなの保健室	まちなか健康相談拠点を開設してみえてきたもの
2P-103	扶藤 由起	ホームホスピスひばりクリニック	ITによる多職種情報共有ツールの開発 ～在宅医療連携拠点事業の成果より～
2P-104	一井 美哉子	在宅医療連携拠点たんぽぽ	看取りのパンフレットが果たす役割～「家で看取るということ」パンフレットのアンケート調査から～
2P-105	中田 隆文	須藤内科クリニック	訪問リハビリテーションで経験された急変に関する調査報告
2P-106	加藤 公恵	オレンジホームケアクリニック	専門職連携実践研修の取り組み
薬剤師の関わり		【座長】藤巻 徹郎 株式会社アトム薬局	
2P-107	旭 典之	株式会社 大和調剤センター 中央南薬局	調剤済み不要麻薬の薬局への返却率について
2P-108	前田 桂吾	株式会社フロンティアファーマシー	在宅緩和ケア対応薬局データベースの構築
2P-109	池田 彩子	山梨市立牧丘病院	チーム医療を中心とした訪問薬剤管理業務の取り組み
2P-110	古川 典之	ハロー薬局	訪問薬剤師に求められている事
2P-111	井塚 めぐみ	大阪ファルマ・プラン あおぞら薬局	在宅緩和ケアと保険薬局の役割 退院前カンファレンスからデスカンファレンスまでを経験して
2P-112	黒木 多美子	松戸薬局松戸新田店	薬剤師がグループホームに提供する包括的な薬剤管理の内容とその意義
2P-113	長井 貴之	(株)ツルハ 調剤薬局ツルハドラッグ 津志田店 在宅医療担当	老人介護施設入居のがん患者への薬局薬剤師の関わり ～医師からの突然の連携依頼～
訪問リハビリ		【座長】波江野 茂彦 医療法人拓海会 神経内科クリニック	
2P-114	中田 隆文	須藤内科クリニック	訪問リハが実施された要支援の慢性呼吸器疾患患者は、状態が安定しているか？
2P-115	渋谷 明子	ガイアリハビリ訪問看護ステーション	高次脳機能障害を持つ主婦が調理を通して社会的役割を取り戻すまで
2P-116	古屋 聡	山梨市立牧丘病院	山間地域にある小規模病院における訪問リハビリの報告と今後の課題
2P-117	中崎 喜英	倉敷中央訪問看護ステーション	片麻痺を後遺症にもち、腎臓を増設したターミナル患者の訪問リハビリテーション 事業所間での多職種連携とレッグバッグの使用が動作能力の改善に有用であった一例の紹介
2P-118	宮崎 智恵美	頤田病院 リハビリテーション部	同一施設からの訪問リハビリと訪問診療利用の患者満足度調査 ～セラピストと医師・看護師との連携による患者満足度への影響～
2P-119	古山 大雅	医療法人社団日翔会 わたなベクリニック	「病院から在宅へ、在宅から社会参加へ」訪問リハビリテーションの現場の取り組み
2P-120	村上 茂雄	たんぽぽクリニック リハビリテーション課	要支援者に対する訪問リハビリテーションの必要性について ～症例を通しての一考察～